



# 特認校<sup>9</sup>

特認校とは、自然豊かな環境に恵まれた小規模校に、校区外から入学・通学できる制度のことです。



**永水小学校**  
在校生24人(うち特認校生9人)  
霧島永水3811  
☎(57)0367



永水小学校ブログはこちらから▶

地域住民とPTAと一緒に田植え

体験が盛りだくさん、みんなが主役の学校

## 自然と地域の人に囲まれ人間性豊かに

北に霧島山を臨み、山々に囲まれた静かな地にある永水小学校。24人(特認校生9人、山村留學生2人)いる児童のほとんどがバスで通学しています。

複式3学級のほか特別支援学級も2学級ある同校は、子どもの特性に合ったきめ細やかな指導が魅力の一つです。

### 地域住民が「先生」

地域住民とPTAの絆が深いことも同校の特徴。田植えや稲刈り、ソバの種まきやそば打ち、捕まえたニジマスを塩焼きにして食べる山村キャンプ。これらの体験では、経験豊かな地域住民が「先生」となって、子どもと一緒に保護者も食育を学んでいます。

地区の伝統行事である牧神相撲、永水を市内外の人にPRする「永水ぐるりグルメ歩き会」でも、世代間の触れ合いが多く見られます。

「地域とPTAは、学校の活性化の源。子どもたちは、一つのこと懸命に取り組み成し遂げる大人たちの背中をしっかりと目に焼き付けているの

ではないでしょうか」と話すのは校長の名越秀人さん(55)。

授業では、俳句を詠んだり、自分の意見や考えに理由を添えて発表したりすることで自ら考える力を育てています。

学校と自然と地域住民。三つの「先生」に見守られて伸び伸び育つ子どもたちの元気な声が、永水の山あい響き渡ります。

### 子どもと一緒に保護者も楽しむ

◎特認校生の保護者

東里美さん(41)  
国分在住



子どもを伸び伸び育てたくて、自然豊かで多くの体験活動がある永水小学校を選びました。少人数なので、全校児童や地域の人の前で発表する機会も多く、自信を付けています。入学前は大変じゃないかと心配していたPTA活動。何でも言いやすい雰囲気の中で、保護者も楽しんでます。地域の皆さんと協力して企画した行事で喜び子どもたちの笑顔を見たときの達成感は最高です。



一人一人に合わせた指導



真剣勝負の牧神相撲



地域住民との触れ合い



家族でシイタケの駒打ち